



南筑後外国語（英語）教育研究サークル
会長 境 宏文（柳川市立三橋中学校長）

11月16日（土）13：30～16：30 柳川市立三橋中学校図書室にて

期末考査の時期のお忙しい中、昨年度、南筑後学力向上研究会で発表された吉開先生（大牟田市立米生中学校）から、その後3年生になった子ども達の様子と授業の取組についても報告していただき、学力向上をねらう授業作りについても様々な観点から議論することができました。今回も参加された先生方の授業作りについてのお悩みやそれぞれの取組について忌憚のないご意見をたくさんいただきながら充実した会を持つことができました。また、今村先生や小田先生が普段使われている学習プリントや東京書籍さんからの受験勉強に役立つ問題集というお土産付き！

今後、中学校3年間で私達が目指すべきゴールを明らかにする can-do-list の南筑後版モデル作りをに向けて、どんな活動を取り入れていくべきなのか、さらに交流を深めていきましょう。 文責 古川（広川中）

実践報告 吉開千穂先生（大牟田市米生中）
「毎日の授業の中で取り組んでいること」

○どんな場面で使う英語なのか？ しっかりとした場面設定が大切

新しい言語材料を学習する際、その言語が使われる場面を提示し（自然な形で）、パターンプラクティスやペア活動、グループ活動を取り入れることを心がけている。

○インプット活動とアウトプット活動の相互作用が必要

様々な表現活動を行っていくためには、インプット活動が必要。そこで帯学習として、右図の学習プリントを用いて、音読トレーニングを実施。1分間に何文読むことができたか記録させる。また、家庭学習にも繋ぎ、音読練習を繰り返しおこなうことで苦手意識を払拭。さらに、その音読練習の評価を休み時間や放課後の時間を利用して、音読テストを実施。合格するまで、何度も挑戦させる。

表現することの楽しさを味わわせるためにも、①自分の思いと、②既習した内容とをうまく組み合わせて表現するポイントを知ることが必要。

いろいろな表現をインプットしよう!! <間接疑問文編>

基本文	日本語
1 I know / where Takeshi is.	私は知っています/武史がどこにいるか。
2 I don't know / who that man is.	私は知りません/あの男の人が誰なのか。
3 Do you know / how old Mr. Koyanagi is?	あなたは知っていますか/小幡先生が何歳か。
4 I know / what Ken likes.	私は知っています/ケンが何を好きなのか。
5 I don't know / who wrote this letter.	私は知りません/誰がこの手紙を書いたのか。
6 Do you know / why Ann called me?	あなたは知っていますか/アンがなぜ私に電話したか。
7 I want to know / when his birthday is.	私は知りたいです/かれの誕生日がいつなのか。
8 Please tell me / what this is.	私に教えてください/これが何なのか。
9 I'll ask him / when the shop will open.	私は彼に尋ねるつもりです/その店がいつ開く予定か。
10 I don't know / why he came here.	私は知りません/なぜ彼がここに来たのか。
11 Do you know / whose eraser this is?	あなたは知っていますか/これが誰の消しゴムか。
12 Do you remember / who she is?	あなたは覚えていますか/彼女が誰なのか。
13 Please tell me / where you took this photo.	私に教えてください/あなたがどこでこの写真を撮ったか。
14 She doesn't know / when I'll go there.	彼女は知りません/私がいつそこへ行くつもりか。
15 I know / what time that movie starts.	私は知っています/あの映画が何時に始まるか。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
英文音読								
日本語→英文								

紹介 今村先生より 重要動詞習得のための活動

①buy-bought ②build-built ③feel-felt……といった60の重要動詞

について、小テストを繰り返し実施（50点合格）。さらには、定期考査に出題し、徹底して覚えさせる。難易度をレベル1～レベル5まで用意。ペアで活動させる（一人が出題、一人が答える）。ペアで言い合うことができる所要時間を競い合わせ、自分たちの伸び（2分30秒でいくつ言えたか）を競わせる。この活動で覚えた動詞は、自己表現（書く活動）につなげることができる。

紹介 小田先生より 修学旅行でのインタビュー活動

- ① 教科書 program5 (3) 大木町を紹介する文を班で作成
- ② 外国人へのインタビュー内容を考える（班別自主研修時）
- ③ 実際のインタビュー
- ④ 修学旅行後の発表会 ※商工会とタイアップして、お礼の品を提供していただく

Can-do-list の南筑後版作成に向けた協議

前回（「読むこと」についての3年生のゴール）に続いて、「聞くこと」について、○実生活に関わること ○受動的に聞き取ること ○会話において聞き取ること といった項目ごとに活動内容や3年生で目指す姿について協議